

総領事館だより



マレーシア歴史探報(博士とペにゃんの旅シリーズ・トレンガヌ編)

博士：ペにゃんよ、疲れたのう。「トレンガヌ州」はペナンからの直行便がないのじゃ。

ペにゃん：博士、トレンガヌ州ってどんなところなのかにゃ??

博士：よく聞いた、ペにゃんよ、トレンガヌ州の人口は約120万人で、さいたま市と同じくらい、大きさは約13000k㎡だから長野県と同じくらいじゃな。ここは、1974年まではマレーシアで最も貧困州だったのじゃが、現在は石油が発見されてからかなり潤っておる。

ペにゃん：へー、博士は物知りにな。トレンガヌ州と日本はどんな関係があるにゃ??

博士：トレンガヌと言えば、マレーのハリマオ(虎)と呼ばれた日本人が有名じゃな。ペにゃんよ、ハリマオを知らない?昭和35年の山田克郎原作の「快傑ハリマオ」じゃ。悪者をばったばたと倒す所に胸を躍らせたものじゃよ。しかし、平成元年にも和田勉監督による「ハリマオ」の映画があったのう。わしらの世代じゃ、ハリマオは義賊じゃな。昔で言えば、ネズミ小僧、石川五右衛門みたいなもんじゃ。ペにゃん世代じゃルパン三世か。

ペにゃん：・・・博士の年齢がわかってしまうにゃ。今はルパン三世よりも「名探偵コナン君」に出てくる怪盗キッドと言った方がわかりやすいにゃ。

・・・「怪盗ペにゃん」参上!! Hahahaha...



博士：・・・ペにゃんよ。ハリマオの日本名は「谷豊(明治44年(1911年)11月6日生)」で1913年頃に両親と一緒にクアラ・トレンガヌに到着、その後両親は理髪店を営んでいたのじゃ。その後ハリマオはマレーシアと日本を行ったり来たりしておったのじゃが、ハリマオが日本に帰国していた昭和8年(1933年)11月6日に妹さんの静子ちゃんがトレンガヌで排日思想の支那人(「南洋の五十年」引用、原文のまま)に虐殺されてしまったのじゃ。これには、ハリマオも怒ってなあ、昭和9年頃にマレーシアに舞い戻ってきたのじゃ。しかし、当時、妹静子ちゃんの殺害犯人の処罰を要求しても聞き入れてもらえなかったの(実際には処刑されたとの記録あり)、イギリスの官憲(当時マレーシアはイギリスの植民地)や裕福な華僑を標的に復讐活動、いわゆる、泥棒になって、盗んだ物を貧しい人たちに分け与えていたと言われていたのじゃ。特に若いマレー人に慕われており、義侠心が厚かったのじゃろう。支援者もいたそうじゃ。そのハリマオの活動範囲はマレーシアから南タイにまで広がって、彼自身はタイ語、マレー語、英語に堪能じゃったそうじゃ。

ペにゃん：にゃんと・・・妹さんの話は可哀想にゃ。

博士：その後、ハリマオは得意の語学や土地の見識を生かして、第二次世界大戦時の日本軍に協力するようになったのじゃ。昭和16年12月8日に始まった太平洋戦争、開戦と同時に行われたマレー・シンガポール作戦に協力、日本軍の進撃やイギリス軍からマレーシアを開放した後の活動を容易にする為に、交通施設やダム、発電所の確保に奔走し、文字通りの大活躍をしたそうじゃ。

ペにゃん：日本とマレーシアって戦争したんだにゃ。知らなかったにゃ。

博士：おっと、ペにゃんよ、日本とマレーシアは戦争をしていないよ。当時マレーシアは英国の保護下にあり、ペナンやマラッカは英国の植民地だったのじゃ。日本はイギリスを含む連合国との戦争であって、日本とマレーシアが戦争をしたわけじゃないんじゃよ。

博士：ハリマオは、その後、戦争中にシンガポールで、マラリアに感染して亡くなったの

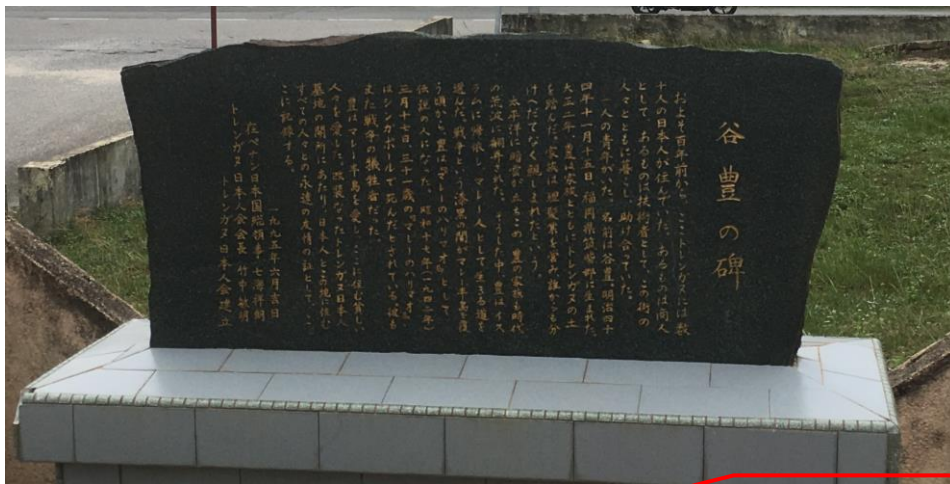
じゃが（昭和17年3月17日没）、そのお墓については未だにどこにあるのかはつきりしないんじゃ。しかし、彼の功績等は当時の新聞にも大きく取り上げられているので、わしより年配の世代じゃ彼はヒーローじゃよ。

ぺにゃん：すごい人生にゃん。しかし、お墓がどこにあるのかわからないのも可哀想にゃ。

博士：そうじゃのう。しかし、ぺにゃんよ、実はハリマオが義賊になったきっかけの妹さんの他にハリマオのお父さんのお墓がトレンガヌにあるのじゃよ。

博士：平成6年（1994年）3月11日に、ハリマオの実弟の谷茂喜さんが59年ぶりに生地トレンガヌを訪れて、荒れ果てて崩壊寸前であった実父（谷浦吉さん）と実妹（谷静子さん）のお墓を発見し、マレーシア政府、トレンガヌ州政府、ペナン日本総領事館の協力を得て、お墓の整備を行ったのじゃ。そして、この日本人墓地の整備がきっかけで、平成6年12月17日にトレンガヌ日本人会が正式に発足し、その後の墓地の管理運営を行っていたのじゃ。しかし、日本人の流出が止まらず、平成23年にトレンガヌ日本人会は解散、墓地もまた日本人に忘れられた存在になっていたのじゃよ。

ぺにゃん：そこへ僕と博士と一緒に平成29年2月15日にもう一度確認しにいったのだにゃ。覚えているにゃ。荒れ放題になってたにゃ。だけど今はペナン総領事館の協力を得て、また墓地をきれいにしているにゃ。日本人の足跡を忘れたらダメにゃ。日本人には是非見に行ってもらいたいにゃ。（住所 Lorong3, 21100 Kuala Terengganu）



左：谷静子さん



右：谷浦吉さん



目下、マレーシアの歴史を飼って勝手に研究している（略してマレ研）マスコットキャラクター。活動範囲はペナン、ペラ、ケダ、ペルリス、トレンガヌ、クラランタンが限界。



マレ研顧問でちょっと物知り。